

山縣医院だより

YAMAGATA CLINIC 2008 夏号



第12回 ぶんぶん歩こう会 IN 向島 立岩稲荷
日時 平成20年 5月 18日 (日曜日)

- ♪ 第12回 山縣医院 ぶんぶん歩こう会 in 向島
- ♪ 障害者スポーツ医講習会に参加して
- ♪ ?? 夫婦円満の秘訣 ??
- ♪ 「骨と関節の日」記念行事
- ♪ 残暑お見舞い申し上げます

整形外科は骨と関節の専門医です



障害者スポーツ医講習会に参加して



2008年2月1日から3日間の日程で、埼玉県所沢で開催された講習会に参加した。診療を3日も休むことに抵抗があったが、諸事情もあり参加を決心した。障害者のスポーツに特に関心があるわけではない。パラリンピックの帯同を希望しているのでもない。主催者の意向には必ずしも合致していない受講生である。整形外科を標榜し障害やリハビリテーションを専門とし、養護学校（総合支援学校）、重度心身障害者施設の現場に関わっている経験から障害者に対するスポーツの位置付けを整理したかった。自立支援法による障害区分認定や介護度認定に加わり、障害を持っておられる方への行政の取り組みを実感として知り「益々”障害とは何か？”“を考える機会が増えていた。

医学や医療側からの視点とは別に福祉、行政の立場、障害者自身の立場からの視点からいろいろと考える。模索して出した結論が、自分だけの正論に過ぎなかったということもよくある。同業の医師間でも障害者についての考え方は様々だ。少しでも正しく理解したかったので聴講させてもらった。

障害者は、精神、身体、知的と大きく三つに分類されそれぞれ約300万人、300万人、30万人である。この障害者とは手帳取得者のことである。そのうち障害者スポーツ競技会に登録者は約2万人で実際の競技参加者は1割の2000人位と思われる。全障害者からすると想像どおりほんの僅かである。

この講習会では、障害者スポーツと行政、代表的障害・疾患の病態生理とスポーツを行うにあたっての注意点が説明された。

障害者スポーツの中で最もよく知られており理解し易いのは車いすバスケットがある。実際にルールをおそわり車いすを操作してプレーの体験させてもらったのは、とても印象的であった。競技者の多くはスポーツ事故や交通、労災事故などで頸や背骨を骨折し背骨の中の大切な神経である脊髄を切断され足が麻痺し手も不自由になった方すなわち「脊損患者」である。突然身にふりかかった不幸を受容し、充実した人生を再構築するにあたりスポーツのもつ意義は大変大きい。これが障害者スポーツの最大のメリットであり目的でもあることは言うまでもない。スポーツは有効利用されなければならない。障害のない人にとってもスポーツには功罪がある。スポーツや運動という言葉に酔いしれてはいけない。やり過ぎや誤った使い方によっては取り返しのつかない障害が発生し得るリスクが常にあることを忘れてはならない。身体能力の低下している障害者ではさらにリスクが高まることは容易に理解できるであろう。障害疾患の詳細な病態の理解や競技特性に加えその時その時の体調管理が重要になってくるのだ。障害者には特にきめ細かな対応が望まれる。障害者もスポーツの好きな人であればその門戸を開き楽しく安全に行ってもらおう、これがこの講習会の趣旨であったと思う。

一方以前から持っていた疑念は解決できずじまいである。ほんの一部の競技者があたかも障害者の代表であり成功者のようにもてはやされるマスコミ報道に違和感を覚えるのは私だけであろうか？ 99・9%の障害者は競技選手どころかレジャースポーツでさえ楽しめていないという現実がある。競技者になれるのは障害が重度ではなく出会いに恵まれ経済的にも困窮していない非常に幸運な人だと思う。願うは、パラリンピックなど競技スポーツの発展だけではなく、障害者の多くに光をあてるように広くスポーツを楽しんでもらいたい。そのための制度作りの方が大切のように思う。

先のアテネ五輪ではパラリンピック部門での中国の突如の大躍進が注目された。北京五輪を睨んでの国家プロジェクトと推測するが、障害や福祉、人権など国家の成熟度の指標であるべきパラリンピックも政治利用された感は否めない。勝負にこだわる競技が障害者にもあっても良いと思うが、障害に克つ事が金メダルであるという本筋を忘れてはならないと思う。

さあ北京オリンピック。障害者の頑張る姿にも注目してください。

山縣 茂樹



ニュース

画像診断システムを更新しました。
従来のフィルムでの診断に加え高精度液晶
モニターでの診断が可能になりました。

??夫婦円満の秘訣??

その1 ケンカの仲裁は?



夫婦円満の秘訣なんて結婚12年目の私が言うのもおこがましいですが、我が家は、何ととっても、夫の忍耐強さと寛容さで持っていると思います。

結婚当初は、本当に些細なことでボクシングの試合のごとくゴングが鳴っていました。ケンカは、夜にすることが多く電気代がもったいないということで電気を消して布団の上で二人とも天井を見ながら言い合いをしていました。(夫が発発の電車に乗らないといけない日々だったこともあります。)。当然、朝の早い夫は眠たくなってきますが、私はしゃべり続けているので眠たくなるはずがありません。そのうち早く寝たい夫は、「わかった、悪かったね。」と言います。今度は、その言い方がどうだという話になってきます。こういうことを5年ぐらい続けてくるとお互いに(特に夫が私に対して)どうしたらイライラするのか、収まるのかがわ



かってきはじめると、些細なケンカは減り、今度は、半年に一度の大きなケンカになります。

この続きはまたの機会に… 夫婦円満家庭の妻 A



骨と関節の日をご存知ですか？



日本整形外科学会が、毎年10月8日を「骨と関節の日」としています。

山口県臨床整形外科医会としても、毎年「骨と関節の日」記念行事を行なっていますが、今年は「骨粗鬆症～運動器不安定症の要因として～」をテーマとし、(昨年度は防府にて)

今年度は平成20年10月5日(日) 萩市 サンライフ萩 午後12:00より記念行事を行ないます。昨年同様、特別講演、健康フェア、万歩計プレゼント(抽選にて)等、市民講座が行なわれる予定です。



わたしの骨は大丈夫かな？ と思ったら

当院で骨密度測定ができます。所要時間 約5分 ご希望の方は受付、看護師へお申し出下さい。山縣医院では骨粗鬆症の診断、治療を行っています。



残暑お見舞い申し上げます



連日の猛暑で体調を崩す方も多いようです。外出の際、炎天下で仕事されている人達を見て頭が下がる思いです。異常気象といいますが確かに最近私達の周りでも実感することも多く、以前はアブラゼミからつくつく法師まで順に鳴いていた庭のセミが今年はどうも数種類がいっせいに鳴いている様ですし、夜中まで鳴いている日もあります。エアコンのおかげで年中快適に過ごしている人間と異なり、動物や植物の方が自然の変化を敏感に感じているのかもしれませんが。



暑い暑いと文句を言いながらエアコンや扇風機に手が伸びる私達とちがって、



我が家の一員のテラ(コーギー)が、5月中旬より原因不明の体調不良で皆を心配させています。痛いとしんどいとも言わずがんばっている彼に私達はただ声をかけ、触ってやるだけです。テラに限らず心配し悲しい思いを何度もしながら、それでもいつも家族のそばに犬がいたのは彼らから与えられる喜びや暖かさがそれにまさるからでしょう。



というわけで、次号にはスタッフの家族(ペット)達を一挙公開しようと思います。ご期待下さい。

しばらくはこの暑さも続くことでしょう。患者さんの皆さまも、またペットを含むご家族の皆さまもどうぞ御自愛下さいませ。☺



山縣医院

〒747-0834 防府市田島1092

整形外科 リハビリテーション科 神経内科
デイケア(通所リハビリテーション)

TEL 0835-22-0246